

公益社団法人 日本地震工学会 第2回社員総会ならびに講演会・贈呈式報告

横井 俊明 / 塚本 良道
● (独) 建築研究所 ● 東京理科大学

公益社団法人日本地震工学会第2回社員総会ならびに講演会・贈呈式・特別講演が、平成26年5月22日(木) 14時00分から17時20分、建築会館ホール(東京都港区芝5丁目26番20号)において開催された。また、一連の行事の終了後、会員相互の親睦を図るため、17時30分よりロビーにて懇親会が催された。

第2回社員総会(14時00分～17時20分)

1. 総社員総数：1,224名
2. 出席社員数：636名
3. 出席代表理事・監事(敬称略)

会 長 安田 進

出席理事(平成25年度理事・監事)

安田 進会長、当麻純一副会長、山崎文雄副会長、福喜多輝、新海 元、矢代晴実、和泉信之、加藤研一、松田 隆、年縄 巧、横井俊明、古屋 治、鳥井信吾、境 茂樹、田村敬一、塚本良道

出席監事 五十嵐克哉

出席理事(平成26年度就任)

志波由紀夫、副島紀行、小檜山雅之、藤川 智、片岡正次郎、佐藤正行

出席監事(平成26年度就任) 小林信之

4. 議長：代表理事(会長)安田 進
5. 議事録作成：理事・横井俊明、理事・塚本良道
6. 第2回社員総会：

1) 開会及び議長選任の経過

司会を担当する福喜多理事が、公益社団法人日本地震工学会第2回社員総会は、同会定款第4章第14条～第18条により、定足数を満たしたので、成立する旨を宣言した。続いて議案、

- ・平成25年度事業報告・収支決算報告・監査報告
- ・平成26年度監事・理事の選任、選挙管理委員会委員・役員候補推薦委員会委員の選任
- ・平成26年度事業計画・収支予算、学生会員会費改定についての報告

を行なうことを宣言した。また定款第15条により、議長は代表理事・安田 進会長があたることを宣言した。

2) 会長挨拶

社員総会の先頭を切り安田会長より挨拶がなされた。



会長挨拶 安田進氏

3) 議事経過

議長のもと以下の議案に基づき審議が行なわれた。

議案

第1号議案 平成25年度事業報告(平成25年5月1日～平成26年3月31日)

福喜多理事により報告され、議長は第1号議案を議場に諮ったところ、満場異議なく議決した。

第2号議案 平成25年度収支決算報告、監査報告

矢代理事により収支決算が報告され、平成26年度への繰越金について、以下の説明が追加された。「実質繰越金は約107万円である。年間運営費は約2000万円であり、適正な繰越金額は、その30%の約600万円である。困難な財政運営の状況になりつつある。」続いて、五十嵐監事により、「適切な業務運営・会計処理がなされている」旨の監査報告がなされた。議長は第2号議案を議場に諮ったところ、満場異議なく議決した。

第3号議案 平成26年度監事の選任(任期：平成26年6月1日～平成27年5月31日)

議案について、議長は内容を説明した後、以下の監事についてこれを議場に諮ったところ、満場異議なく議決した。

監 事 小林 信之 氏(青山学院大学)

第4号議案 平成26年度理事の選任

議案について、議長は内容を説明した後、以下の理事についてこれを議場に諮ったところ、満場異議なく議決した。

理 事 片岡正次郎氏

(国土交通省国土技術政策総合研究所)

小檜山雅之氏(慶應義塾大学)
佐藤正行 氏(東電設計)
澤田純男 氏(京都大学)
志波由紀夫氏(大成建設)
副島紀代 氏(大林組)
藤川 智 氏(清水建設)
藤原広行 氏(防災科学技術研究所)

また、退任理事が紹介され、会場の拍手をもって在任中の労をねぎらった。

副会長 当麻純一 氏(電力中央研究所)
理 事 加藤研一 氏(小堀鐸二研究所)
清野純史 氏(京都大学)
田村敬一 氏(京都大学)
富田孝史 氏(港湾空港技術研究所)
福喜多輝 氏(清水建設)
松田 隆 氏(大林組)
矢代晴実 氏(防衛大学校)

第5号議案 平成26年度選挙管理委員会委員の選任

議案について議長は内容を説明した後、以下の選挙管理委員会委員についてこれを議場に諮ったところ、満場異議なく議決した。

加藤研一 氏(小堀鐸二研究所)
藤川 智 氏(清水建設)
渡壁守正 氏(戸田建設)
渡辺和明 氏(大成建設)

第6号議案 平成26年度役員候補推薦委員会委員の選任

議案について議長は内容を説明した後、以下の役員候補推薦委員会委員についてこれを議場に諮ったところ、満場異議なく議決した。

運上茂樹 氏(土木研究所)
大谷章仁 氏(I H I)
勝俣英雄 氏(大林組)
清野純史 氏(京都大学)
鈴木康嗣 氏(鹿島建設)
高橋 徹 氏(千葉大学)
永野正行 氏(東京理科大学)
福喜多輝 氏(清水建設)
三輪 滋 氏(飛鳥建設)
若松加寿江氏(関東学院大学)

第1号報告 平成26年度事業計画

新海理事より平成26年度事業計画が報告された。

会場から第17回世界地震工学会議(2020年)の本邦招致を実現する為の、招致運動に関する意見と質問があり、山崎副会長より招致委員会の現在の活動状況についての説明が行われた。加えて、会員への招致へ向け

ての協力の御願いが述べられた。また、平成26年度事業計画(1)関連する研究に関する文献リスト(53ページ)の趣旨に関して、「地震工学に関する幅広い資料収集とわかりやすいホームページへの公開」の要望がなされた。

第2号報告 平成26年度収支予算

和泉理事より平成26年度収支予算が報告された。さらに、会員へ、以下の御願いが述べられた。「日本地震工学シンポジウム(JEES)特別会計の収入が計上されているため、前年度の予算・決算に比べて本年度の収入予算金額は大きく見えるが、JEESと年次大会を除くと前年度比+3%程度である。支出予算金額も同様で、前年度比-8%と概算される。今年度も厳しい状況での運営となるので、収入の増加への御協力を会員の皆様をお願いしたい。」会場から、「上記の数字-8%は、消費税の増加の影響を考慮して、実質-10%の圧縮が必要なのか」の旨の質問があり、和泉理事より「消費税の増加の影響も考慮して-8%の支出予算の圧縮としている」旨の回答がなされた。

第3号報告 学生会員会費改定について

安田会長より、学生会員会費改定について以下の報告がなされた。

- ・学生会員会費を、現行の年間1000円から3000円に改定することを、平成26年3月13日の理事会にて決議した。
- ・値上げの理由として、「公益目的事業の推進」を学会活動の基本とし、公益活動をさらに強化し、名実ともに「公益社団法人」に相応しい社会貢献活動を行っていくためには、財政基盤の強化が不可欠であると判断した。
- ・決定にあたっては、各学会の学生会員会費についての現状調査等の結果を踏まえた。

この報告に関して、会場からの質問・意見はなかった。

4)閉会

以上で全ての議案の審議を終了し、15時40分に公益社団法人日本地震工学会第2回社員総会を閉会した。

贈呈式・記念講演(15時40分～16時40分)

社員総会に続いて、平成25年度功績賞・功労賞の贈呈式、論文賞・論文奨励賞の贈呈式・記念講演が執り行われた。

1. 平成25年度功績賞・功労賞の贈呈式

当麻副会長が司会を担当し、平成25年度功績賞・功労賞の贈呈式が執り行われた。受賞者は以下のとおりである。受賞理由については、当学会のホームページ

に詳しく記述されている。

(<http://www.jaee.gr.jp/members/prize/>)

功績賞：正会員・若松加寿江氏、正会員・松岡昌志氏、
法人会員・東京ガス株式会社

功労賞：正会員・矢部正明氏、
日本地震工学会事務局長・鳴原 毅氏



功績賞受賞者



功労賞受賞者

2. 論文賞・論文奨励賞の贈呈式・記念講演

年繩理事が司会を担当し、論文賞・論文奨励賞の贈呈式・記念講演が執り行われた。受賞者・論文名は以下の通りである。受賞理由については、先に示した当学会のホームページに詳しく記述されている。

論文賞：正会員・杉野英治、呉 長江、是永真理子、
根本 信、岩渕洋子、正会員・蛭沢勝三「原子力サイトにおける2011東北地震津波の検証（第13巻 第2号特集号「2011年東日本大震災」その3、2013年3月掲載）」

論文奨励賞：正会員・岩城麻子「低周波数地震動の情報を用いた高周波数地震動合成の試み－関東地域における検討－（第13巻 第4号、2013年

8月掲載）」

論文奨励賞：正会員・長岡 修「等価線形化法による木造住宅の地震時応答推定とその精度（第13巻 第3号、2013年5月掲載）」



論文賞受賞者



論文奨励賞受賞者

特別講演（16時40分～17時20分）

鳥井理事が司会を担当し、特別講演が執り行われた。「地震工学と機械工学のはざままで」と題して、首都大学東京名誉教授の鈴木浩平氏が講演された。



特別講演 鈴木浩平氏